



さまざまな屋根材に対応できる。
充実のラインアップ!



2液弱溶剤フッ素樹脂塗料

リリーフNADフッ素

2液弱溶剤シリコン樹脂塗料

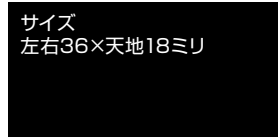
リリーフNADシリコン

2液弱溶剤ウレタン樹脂塗料

リリーフNADウレタン

標準色

● 本見え本帳のPDF版をカラー出力された場合、この見え本帳に掲載しています標準色とは著しく色の相違があります。PDF版のカラー出力やパソコンのモニターをご覧になってのご注文はお受けできません。標準色の指定、選定、ご注文は必ず現物の見え本帳をお願いします。



▲ブラック



▲スレートブラック



▲クラウドグレー



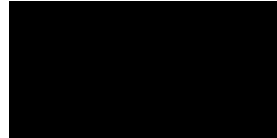
▲ミドルグレー



▲マウスグレー



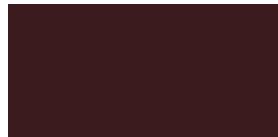
▲グレー



▲ココナッツ



▲ライトグレー



▲チェスナット



▲スレートブラウン



▲ラシットレッド



▲ガーネットレッド※



▲ブリックレッド



▲ゴールド※



▲ベージュ



▲ディープブルー



▲ロイヤルブルー



▲マリンブルー



▲グラスグリーン※



▲オリーブ※



▲ハルノグリーン※



▲ニューグリーン※



▲クラシックグリーン※



▲S-1シルバー



▲スーパーいぶし(艶消し)



▲シルバー30号



▲銀黒2号

※「リリーフNADウレタンN」の下塗りはグレーになります。



▲銀黒3号

※「リリーフNADウレタンN」の下塗りはグレーになります。



▲シルバーブラック



▲銀星 (ぎんせい)

※「リリーフNADウレタンN」の下塗りはグレーになります。

- 塗料の種類により同じ色相でも色、艶が異なる場合があります。
- 色見本は経時劣化により変色しますので、直射日光の当たる場所や高温多湿の場所には保管しないでください。
- 広い面積に塗られた場合、見え本帳のカラーチップと多少違って見える場合があります。
- 品種により、標準色に含まれない色や対応できない色があります。
- 品種により、多少色相および仕上り外観(艶)などに相違がある場合があります。ご了承ください。
- この見え本帳は紙に塗装しておりますので、実際の仕上りとは多少の色違いが生じる場合があります。ご了承ください。
- 膜厚や標準以上の希釈量では色目が少し変わります。ご注意ください。
- シルバー色の塗装はスプレーのみとなります。 ● シルバー色の下塗り塗料の色相は、品種により異なることがありますので、ご注文の際は必ずご確認ください。
- ※ 印の標準色(7色)は割高(2~3割程度)になります。

特長

- 標準色を豊富にラインアップ。お好みのカラーで屋根を彩ります。
- 弱溶剤系塗料のため、新規の施工、塗り替え施工を問わずご使用いただけます。また、プライマーの選択により、多様な屋根材に広く対応します(厚形スレート瓦、波形スレート、カラー鋼板、ガルバリウム鋼板など)。
- 当社が長年培った防かび、防藻技術を応用。長期間にわたり、かびや藻から屋根を保護します。

● リリーフNADフッ素

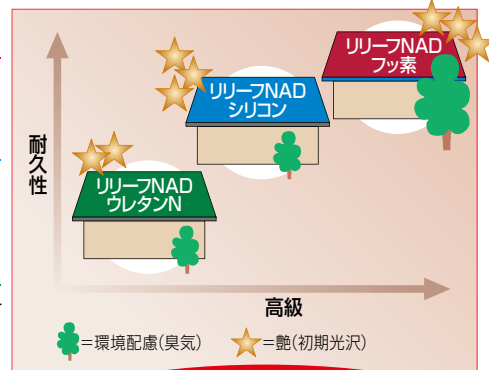
最高級のフッ素樹脂を使用した、シリーズ最高性能の塗料です。

● リリーフNADシリコン

シリコン樹脂を使用した、抜群の耐候性・耐久性を発揮する、ハイクラスタイプの塗料です。

● リリーフNADウレタン

ウレタン樹脂を使用した、優れた耐久性と幅広い塗り替え適性をもつスタンダードタイプの塗料です。



20年で4回塗り替えを行なう
 「リリーフNADウレタン」のトータルコストを10とした場合、
 「リリーフNADシリコン」は8.5、
 「リリーフNADフッ素」は7.5となりました。

● ライフサイクルコスト比較

同じ塗料を使って20年間メンテナンスすると仮定した場合のライフサイクルコストのイメージです。



- 期待耐用年数は次回塗り替えまでの推奨年数(目安)です。ただし、塗膜は風雨により表層から少しずつ風化し、初期の光沢は徐々に低下していきます。
- 塗膜の劣化速度は一般的な環境下を想定しております。● 足場代などの付帯費用は考慮しておりません。
- 塗装仕様などにより、実際のトータルコストやコスト比率は変わります。

荷姿

	製品名	色	荷姿	備考
上塗り	リリーフNADフッ素	各色	16kgセット(A液:14kg B液:2kg)*①	2液弱溶剤フッ素樹脂
	リリーフNADシリコン	各色	16kgセット(A液:14kg B液:2kg)*①	2液弱溶剤シリコン樹脂
	リリーフNADウレタンN	各色	16kgセット(A液:14kg B液:2kg)	2液弱溶剤ウレタン樹脂
特殊上塗り	NTスラリー瓦用上塗りシリコン	各色	16kgセット(A液:14kg B液:2kg)	2液弱溶剤シリコン樹脂
	NTスラリー瓦用上塗りN	各色	16kgセット(A液:14kg B液:2kg)	2液弱溶剤ウレタン樹脂
	塩ビ鋼板上塗りN	各色	16kgセット(A液:14kg B液:2kg)	2液弱溶剤ウレタン樹脂
万能下塗り	エポラオールプライマー	グレー、赤サビ、黒サビ、遮熱ホワイト	16kgセット(A液:14kg B液:2kg)、4kgセット(A液:3.6kg B液:0.4kg)	2液弱溶剤エポキシ樹脂
特殊下塗り	NTスラリー瓦用シーラー	鉛色	16kgセット(A液:14kg B液:2kg)	2液弱溶剤エポキシ樹脂
	塩ビ鋼板用プライマー	茶色	12.6kgセット(A材:12kg B材:0.6kg)	2液溶剤特殊ウレタン樹脂
窯業系下塗り	エポラマイルドプライマー-S	クリアー	28kgセット(A液:14kg B液:14kg)、14kgセット(A液:7kg B液:7kg)	2液弱溶剤エポキシ樹脂
	ウルトラレフプライマー	グレー、ブラック	15kg	1液水性特殊エポキシ樹脂
金属用下塗り	エポラ#1プライマー-N	グレー	16kg	1液弱溶剤エポキシ樹脂
	エポラ#3プライマー	白、赤サビ	16.5kgセット(A液:15kg B液:1.5kg)	2液溶剤エポキシ樹脂
希釈剤	NT塗料用シンナー-A		16ℓ、4ℓ	—
	エポラ#3シンナー		16ℓ、4ℓ	—
特殊添加骨材	PSパウダー		16kg(4kg×4袋)	特殊セメント骨材

*①: B液には「猛暑型B液」もあります(35℃以上の場合)。

屋根材の種類と推奨仕様

ニットの屋根用塗料シリーズは、さまざまな屋根材に塗装できます。一般的によく使われている屋根材の種類と推奨の塗り替え仕様を紹介します。

●それぞれの仕様に記載している使用量、塗り面積は希釈量(シンナー、水)を含んでおりません。

●上塗り一覧表

工程		材料の調合 (重量比)	塗り 回数	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量 (kg/m ² /回)	1回当たりの 塗り面積	施工間隔 (23℃)
上塗り	フッ素	●リリーフNADフッ素 A液 ……14kg ●リリーフNADフッ素 B液 ……2kg ●NT塗料用シンナーA ……0~1kg	2回	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内	0.13~0.16	100~123 m ² /セット	3時間以上 72時間以内
	シリコン	●リリーフNADシリコンA液 ……14kg ●リリーフNADシリコンB液 ……2kg ●NT塗料用シンナーA ……0~1kg						
	ウレタン	●リリーフNADウレタンN A液 ……14kg ●リリーフNADウレタンN B液 ……2kg ●NT塗料用シンナーA ……0~1kg						

●リリーフNADウレタンN、リリーフNADシリコン、リリーフNADフッ素をスプレー塗装する場合の希釈は16kgセットに対して0~2kgとしてください。

●シルバー色はスプレー施工のみとなります。

●上塗りの各塗料は夏場、暑さで可使時間が短くなり「2時間」程度になります。夏場はA液とB液の攪拌後、必ず「2時間以内」に使い切るようにしてください。

●リリーフNADフッ素、リリーフNADシリコンは、35℃以上の場合、猛暑型B液をご使用ください。

一般窯業系屋根材、一般金属系屋根材

①標準塗装仕様 窯業系下地(新生瓦、スレート屋根など)仕様 金属屋根下地(折板、瓦棒、トタンなど)屋根塗替仕様

工程		材料の調合 (重量比)	塗り 回数	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量 (kg/m ² /回)	1回当たりの 塗り面積	施工間隔 (23℃)
素地調整	窯業系 下地	●表面の塵、ホコリ、コケや既存塗膜の浮き、ハガレなどは、高圧水洗やワイヤーブラシなどで完全に除去してください。 ●水洗い後は十分に素地を乾燥させてください。						
	金属系 下地	●フクレ、割れ、浮きなどの劣化塗膜はケレン工具を用いて除去してください。 ●サビは電動工具やサンドペーパーなどを用いて除去し、被塗面を清掃してください。 ●被塗面の表面の塵、ホコリ、油脂類はシンナーや高圧水洗などで完全に除去し、乾燥した清浄な面にしてください。						
下塗り		●エポラオールプライマー A液 ……14kg ●エポラオールプライマー B液 ……2kg	1回	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内	0.13~0.16	100~123 m ² /セット	3時間以上 72時間以内
上塗り		●上塗りは別表「上塗り一覧表」よりお選びください。						

●屋根材の重なり部分は縁切りを行なってください。漏水の原因となります。

●金属屋根の補修塗り、下塗りには1液タイプの「エポラ#1プライマー」もご使用いただけます。

●ガルバリウム鋼板の補修塗り、下塗りには「エポラ#3プライマー」もご使用いただけます。

●新設のガルバリウム鋼板は油分が付着している場合がありますので、脱脂を行なってください。

②窯業系下地(吸い込みの激しい場合)屋根塗替仕様

工程		材料の調合 (重量比)	塗り 回数	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量 (kg/m ² /回)	1回当たりの 塗り面積	施工間隔 (23℃)
素地調整		●表面の塵、ホコリ、コケや既存塗膜の浮き、ハガレなどは、高圧水洗やワイヤーブラシなどで完全に除去してください。 ●水洗い後は十分に素地を乾燥させてください。						
下塗り		●エポラマイルドプライマーS A液 ……14kg ●エポラマイルドプライマーS B液 ……14kg	1回	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内	0.14~0.16	175~200 m ² /セット	2時間以上 72時間以内
上塗り		●上塗りは別表「上塗り一覧表」よりお選びください。						

●下地の劣化が激しく吸い込みが多い場合は、施工間隔(2~72時間)をあけて、下塗り2回目を施工してください。

一般窯業系屋根材

薄形化粧スレート瓦(カラーベスト、コロニアルなど)

メーカーにより形状もさまざまで名称も異なりますが、厚みが5~10mmの薄形のスレート瓦です。軽量でバリエーションも豊富なため、広く普及している屋根材です。



▲カラーベスト

厚形スレート瓦



セメントと化学繊維をプレス成形した瓦です。和形、洋形さまざまな形状があります。

波形スレート



工場や倉庫の屋根などに多く使われている屋根材です。

※新設には塗装できません。
※ノンアスベストの波形スレートの場合は最寄りの当社営業所までお問い合わせください。

一般金属系屋根材

カラー鋼板

金属屋根素材に焼き付け塗装されているものが一般的です。

※フッ素鋼板の場合は最寄りの当社営業所にお問い合わせください。



無塗装ガルバリウム鋼板



▲表面拡大



表面に結晶模様が見えます。新設の場合には表面の脱脂が目粗しが必要です。

③エポラオールプライマー厚膜仕様(不陸調整が必要な厚形スレートなどの窯業系屋根材)

工程	材料の調合 (重量比)	施工方法	可使用時間 (23℃)	使用量 (kg/m ²)	施工間隔 (23℃)
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ●表面の塵、ホコリ、コケや既存塗膜の浮き、ハガレなどは、高圧水洗やワイヤーブラシなどで完全に除去してください。 ●水洗い後は十分に素地を乾燥させてください。 				
下塗り	<ul style="list-style-type: none"> ●エポラオールプライマー A液 14kg ●エポラオールプライマー B液 2kg ●PS/パウダー 4.0kg ※塗膜厚確保のため、できる限り無希釈施工をお勧め致します。 ●希釈剤 塗料用シンナーA(冬季低温時の希釈として) ローラー.....0~0.2kg スプレー.....0~0.4kg 	<ul style="list-style-type: none"> ●スプレー ●ローラー 	6時間以内	0.15~0.8 ※ローラーは2~3回塗りを推奨	12時間以上 72時間以内
上塗り	●上塗りは別表「上塗り一覧表」よりお選びください。				

エポラオールプライマー厚膜 混練方法



- ①A液とB液をあらかじめ調合します。
- ②A液とB液を攪拌機を使用してよく混ぜます。
- ③さらにPS/パウダー(4kg×1袋)を混合し、攪拌機を使用してよく混ぜます。
- ④60メッシュの濾過網で濾過します。
- ⑤濾過すると塗料中のブツ(ままこ)が採れます。濾過した塗料で塗装してください。

※PS/パウダーを入れる前に、必ずA液とB液を混合してください。

金属系屋根材(塩ビ鋼板屋根材)

④塩ビ鋼板屋根塗り替え仕様

工程	材料の調合 (重量比)	塗り 回数	施工方法	可使時間	使用量	セット当たりの 塗り面積	施工間隔
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ● 高圧水洗(10~15MPa)やワイヤーブラシなどで表面の塵、ホコリ類を完全に除去してください。 ● 水洗い後は十分に素地を乾燥させてください。 						
下塗り	<ul style="list-style-type: none"> ● 塩ビ鋼板用プライマー A材 ……………12kg ● // // B材 ……………0.6kg (原液のまま使用してください)	1回	<ul style="list-style-type: none"> ● ローラー ● 刷毛 	—	0.1~0.12 kg/m ² /回	105~126 m ² /セット	2時間以上 6時間以内 (23℃)
上塗り	● 上塗りは別表「上塗り一覧表」よりお選びください。						

- 下地のチョーキング塗膜は高圧水洗で除去してください。チョーキングが激しい場合、洗浄ができない場合はマジックロンなどでチョーキング膜を除去してください。
 - 下塗りはローラーでしごくように塗装してください。しごいて塗装することでチョーキング塗膜を溶解・復元し、プライマーに混合させます。
 - 下塗りは厚く塗りすぎないように塗布量を厳守してください。塗料のたれ、たまりは剥離の原因となります。
 - 下塗りと上塗り1回目までは同一日に塗装してください。塗装間隔を延長しますと上塗りとの密着が悪くなります。下塗りと上塗りとの塗装間隔を厳守してください。
- ※上塗りの各塗料は夏場、暑さで可使時間が短くなり「2時間」程度になります。夏場はA液とB液の攪拌後、必ず「2時間以内」に使い切るようにしてください。

塩ビ鋼板

塩ビ被覆に可塑剤が多く含まれており、また劣化が進むとチョーキング層も厚く緻密になるため、特殊なプライマーが必要になります。



水性塗料で施工可能

アスファルトシングル

フェルト類にアスファルトを浸透させて表面に着色鉱物粒を貼り付けた屋根材です。溶剤系塗料はアスファルトを溶かしてしまうので使用できません。

● 珪塗装仕様

下塗	シングルプライマー
上塗	水性ルーフシリコンNEO

※水性ルーフシリコンNEO色見本帳をご参照ください。

※下地の状態により、仕上がりにムラが発生しやすいので、塗装時は充分注意してください。



■ニットの屋根用塗料シリーズ「プライマー適合表」

ニットの屋根用塗料シリーズ「プライマー適合表」を閲覧いただけます。さまざまな素地に対する各種プライマーの適合を一覧表にしたものです。右記のQRコードからアクセスしてください。



窯業系屋根材(乾式コンクリート瓦)

⑤乾式コンクリート瓦(モニエル瓦、クボタ洋瓦、スカンジア瓦など)屋根塗り替え仕様

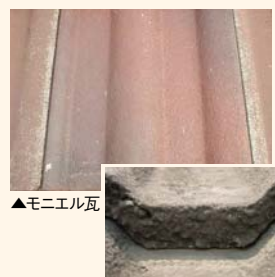
※本製品は当社の特別講習を受講された方への限定工法となります。

工程	材料の調合 (重量比)	塗り 回数	施工方法	可使時間	使用量	セット当たりの 塗り面積	施工間隔
素地調整	●高圧水洗(10~15MPa)やワイヤーブラシを併用してホコリやコケなどを十分に洗浄し、脆弱なスラリー層を取り除いてください。 ●水洗い後は十分に素地を乾燥させてください。						
下塗り	●NTスラリー瓦用シーラー A液 ……14kg ● “ ” “ ” B液 ……2kg	2~3 回	●ローラー ●刷毛	8時間以内 (23℃)	追っかけ塗り※ 0.3~0.5 kg/m ² /1~3回	32~53 m ² /セット	12時間以上 48時間以内 (23℃)
上塗り シリコン ウレタン	●NTスラリー瓦用上塗シリコン A液 …… 14kg ● “ ” “ ” B液 …… 2kg ●塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) ……0~1kg ●塗料用シンナーA(スプレー) ……0~2kg	2回	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内 (23℃)	0.15 kg/m ² /回	106 m ² /セット	2時間以上 (23℃)
	●NTスラリー瓦用上塗N A液 ……14kg ● “ ” “ ” B液 ……2kg ●塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) ……0~1kg ●塗料用シンナーA(スプレー) ……0~2kg	2回	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内 (23℃)	0.15 kg/m ² /回	106 m ² /セット	2時間以上 (23℃)

- コケなどが残った場合、シーラーの付着不良を起こしますので完全に除去してください。
 - シーラー乾燥後にガムテープを塗装面に貼り付けし、剥がしたとき粘着面にスラリー層が付着していないことを確認してください(テープにスラリー層が付着している場合は下塗りを再度塗布してください。下塗りの塗布が不足している場合は基材への浸透不足により、素地の強化がされず効果ができません)。
 - 劣化が激しくスラリー層が消失している箇所へのNTスラリー瓦用シーラーの塗り回数は1回としてください。
 - NTスラリー瓦用上塗シリコンの標準色はリリーフNADシリコンと同様になります。
 - NTスラリー瓦用上塗Nの標準色はリリーフNADウレタンNと同様になります。
 - シルバー色の塗装はスプレーのみとなります。
- ※下塗りの塗装は、瓦表面にシーラーが浮き、シーラーの艶が出るまで塗装してください。通常の1回塗りでは瓦表面にシーラーは浮いてきません。塗装間隔をあけずに2回、3回と追っかけて塗り重ねてください。また、すでに艶が出た箇所への過剰な塗り重ねは付着不良など、不具合の原因となりますのでご注意ください。

乾式コンクリート瓦(モニエル瓦、スカンジア瓦など)

この瓦の特徴は、表面に着色セメントスラリー層があることです。スラリー層は脆弱なため、通常の塗り替えでは剥離が発生しやすくなります。塗り替えの際にはこのスラリー層を固着することが重要になります。厚形スレート瓦との判別は、瓦の小口に凹凸があることで確認できます。



▲モニエル瓦

塗装不可の瓦基材

粘土瓦(素焼き瓦、釉薬瓦、いぶし瓦など)

粘土を焼成して作る歴史の古い瓦です。釉薬やいぶしなど、さまざまな仕上げがありますが、**塗料との相性が悪い**ため、**いずれも塗装できません**。スレート瓦との判別方法としては、次のような方法があります。

- いぶし瓦=表裏とも銀色(または黒)
- その他の粘土瓦=裏面がレンガ色(またはクリーム色)
- 厚形スレート瓦=裏面がセメント色



▲新しいいぶし瓦



▲釉薬瓦(表)



▲釉薬瓦(裏)

施工上の注意事項

● 素地調整について

- ① 高圧水洗やスプレー塗装では、施工中のミスト飛散防止のため、充分に養生を行なってください。
- ② 高圧水洗ができない場合はホースで水を流しながらワイヤーブラシなどを用いて塵、ホコリ、コケ類を完全に除去してください。
- ③ 水洗い後は1日以上乾燥させてください。雨や露などで濡れている場

合も充分に乾燥してから塗装してください。

- ④ 油分が付着している場合は溶剤拭きを行なってください。
- ⑤ サビが発生している場合はワイヤーブラシ、サンドペーパーなどで除去してください。

● 塗料と塗装について

- ① 仕様書に書かれている数値は標準的なものであり、素地の状態、形状、施工条件、気象条件などにより多少の幅が生じることがあります。
- ② 屋根表面を水洗いした後雨や露、霜で濡れているときは充分に乾燥させてから塗装してください。
- ③ 塗装後翌日までに降雨、降雪が予想される場合や気温が5℃以下、湿度80%以上での塗装は避けてください。艶引けや塗膜物性低下の原因になります。
- ④ 夏季、炎天下でエアレスホース内に塗料を入れたまま放置しますと、つまりの原因となります。
- ⑤ 気温が5℃以上で塗装は可能としておりますが、気温が低い場合は塗膜の乾燥に時間がかかりますので施工間隔が変わります。
- ⑥ 塗料は必ず規定配合比で調合し、電動攪拌機などで充分に攪拌してから施工してください。規定配合比で混合されないと、本来の塗膜性能を発現しない場合や、仕上がりが悪くなる場合があります。
- ⑦ 規定の塗布量が塗られていない場合、本来の塗膜性能が発現しない場合がありますので規定量を守って塗装してください。
- ⑧ 他の塗料との混合は絶対に行なわないでください。
- ⑨ 塗料を小分けして使用する場合はA液を充分に攪拌して均一の状態にしてから分けてください。色ムラなどの要因となります。
- ⑩ 材料は直射日光を避け、雨露の当たらない冷暗所に保管してください。
- ⑪ シーリング面への塗装は極力避けてください。塗膜の汚れやワレの要因となります。
- ⑫ 塗装方法が混在する場合、塗布量、表面肌が異なることで若干の色

- ⑬ 塗料の希釈で塗料用シンナーAを使う場合、他のシンナーを使用しないでください。シンナーの種類によっては著しい粘度低下や、本来の色艶がでない場合があります。また、過剰希釈しますと隠蔽不足、色艶の低下、外観不良などの要因となります。
- ⑭ 溶剤系の塗料およびシンナーは引火性がありますので、冷所に保存し、取り扱いの際は火気に充分ご注意ください。また、衛生上、塗装の際に有機溶剤の蒸気を吸わないようご注意ください。
- ⑮ リリーフNADフッ素、リリーフNADシリコン、リリーフNADウレタンNの各仕様で硬化が不十分な場合に塗装しますとリフティング(塗膜のちぢれ)を起こす場合があります。
- ⑯ 瓦棒や波形トタン屋根などの塗装で山の部分や折り曲げ部分などは塗料が付きにくいので、先に拾い塗りをするなどして全体に均一な膜厚になるよう注意してください。
- ⑰ 屋根材の重なり部分に塗料がたまとると漏水などの原因になりますので、必ず縁切りを行なってください。瓦の上下にすき間がないと通気が不十分になり、結露水などの影響により、漏水や素材の腐食、塗膜剥離、フクレなどの不具合が発生する場合があります。
- ⑱ 塗装機具は使用後速やかにラッカーシンナーなどで洗浄してください。
- ⑲ いずれの塗料も粘土瓦への施工はできません。
- ⑳ リリーフNADシリコンはカタログの仕様では可使時間が「6時間以内(23℃)」となっておりますが、夏場の暑さで可使時間が短くなり「2時間」程度になることもあります。夏場はA液とB液の攪拌後、必ず「2時間以内」に使い切るようにしてください。

取り扱い上の注意事項

(よく読んでご使用ください)

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 万一、火災が発生した場合は炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。水は使用しないでください。
- 施工中、乾燥中ともに換気を充分に行ない、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋および前掛けなどの保護具を着用してください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 材料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- 容器はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときには、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください(偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります)。
- 取り扱い後は手洗いおよびうがいを充分に行なってください。
- 目に入った場合は多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。

- 誤って飲み込んだ場合はできるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着し、痛みや外観変化があるときは医師の診察を受けてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 保管は必ずフタをし、直射日光の当たらない場所に保管してください(水系塗料は凍結を避けてください)。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 標準色以外をご指定された場合、褪色が速い場合や塗膜性能が低下する可能性があります。
- 本製品は環境に配慮した材料を用いていますが、ご使用いただいたすべての人の健康状態を保証するものではありません。
- 詳細は警告ラベル、または安全データシート(SDS)をご参照ください。

*製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】

日本特殊塗料株式会社

■代理店

■お問い合わせ先

東京営業所	〒114-8584 東京都北区王子3-23-2	☎(03)3913-6203	FAX(03)3913-6323
神奈川営業所	〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10	☎(0463)23-2135	FAX(0463)23-3739
中部営業所	〒472-0006 愛知県知立市山町東並木北12	☎(0566)81-8111	FAX(0566)81-8124
大阪営業所	〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12	☎(06)6386-8492	FAX(06)6338-3560
中四国営業所	〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13	☎(082)423-8231	FAX(082)423-8256
九州営業所	〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726	☎(0942)89-5766	FAX(0942)89-5762

● 日本特殊塗料ホームページ <https://www.nttoryo.co.jp/>

RCCS-0419J-DS/PN/N#4[2019年4月作成]定価950円(税抜き)